

古木 茂

株式会社 東芝

1. はじめに

近年、インターネットを中心とする情報技術の急激な進歩により、多くの Webtop システムが企業内に導入されてきている。また、最近では、Application Service Provider(以下、ASP)も設立され、各種サービスも Webtop システムにより提供されるようになりつつある。ASP システムでは、WWW ブラウザという統一された環境で複数のシステムにアクセスすることが可能になる。また、ソフトウェアは通常サーバ側で管理・配布されるため、クライアントマシンのディスク消費量の削減、システム構築のための初期費用の低減、TCO 削減、システム利用開始までの期間短縮等、さまざまな効果が期待できるものである。

本報告では、特に製造業で使用される調達システムを ASP として提供したモデルを例に上げ、従来までの調達システムでは困難であった点を解決した点について述べる。

2. システム概要

本報告で取り上げる調達 ASP システム (URL : <http://www.e-ingbiz.com>) は、電子入札、ワークフロー、ドキュメント管理等の各種機能を ASP として各バイヤ、サプライヤへ Webtop システムにより提供するものである。本システムは ASP による調達システムであるため、各ユーザ企業内にそれぞれの機能を提供するシステムを構築・管理することなく、各機能を利用することが可能となる。また、従来のようにユーザ毎にシステムを独自に構築しないため、各バイヤ、サプライヤ間でのシステム連携が容易になる。

本システムのプロット図を以下の図 1 に示す。

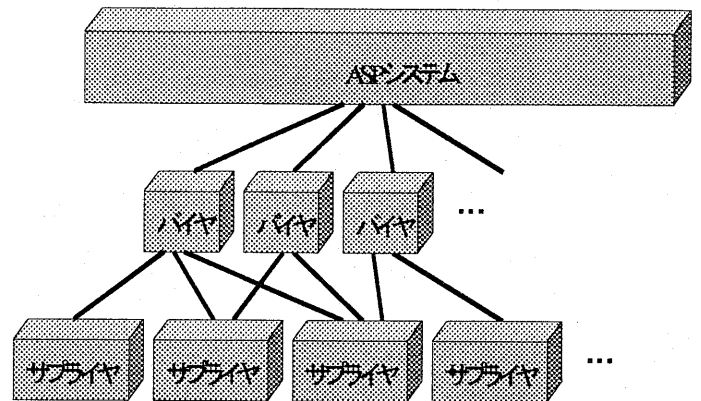


図 1 プロット図

3. 従来システムにおける課題

従来の調達システムでは、サプライヤ側にてバイヤの応札評価結果を見ることができないため、評価結果をその後の製品開発に反映させることができなかった。

また、各ユーザ毎にシステムを独自に、開発・構築することが多いため、見積案件を登録できるバイヤは 1 社もしくは 1 部門のみであった。このため、1 企業の複数事業所の資材・調達部門が同一システムを使用することや、ある企業の系列会社間で同一システムを共有することが出来なかった。

同様に、サプライヤ側も複数バイヤの見積依頼を参照する際には、それぞれ別のシステムに接続する必要があり、ある部品のカテゴリ等をキーにして複数バイヤの見積依頼を 1 画面上で参照することは出来なかった。

このため、本調達 ASP システムを構築するにあたり、上記の従来システムの問題点を考慮し、以下のようなユーザからの要望を実現する必要があった。

- (1) サプライヤ側にてバイヤの評価結果を閲覧したい。
- (2) 1 企業の複数事業所、あるいは系列会社間で同一システムを利用できるようにしたい。

上記を纏めると、本システムにて解決すべき主な課題は以下の2つである。

課題1：サプライヤ側審査結果の通知

課題2：複数バイヤからのエントリー

3. 課題への対策および、その結果

(1) 審査結果の公開

課題1の対策として、本システムにおいては、応札評価結果および、その詳細内容(コスト、納期等)をサプライヤ側へ公開表示するようにした。

(図2)

図2 審査結果公開画面

この結果、サプライヤ側で自社及び他社製品の採用・不採用の理由を知ることができ、今後の製品開発に反映することができるようになった。このため、サプライヤ側では、結果的により競争力のある製品を開発できるようになる。

さらにこのようにサプライヤから安価で品質のよい資材が供給されると、バイヤとしても最終製品の価格を下げる事が可能となる。

(2) 複数バイヤからのエントリー

課題2の対策として、ASP システムとしては一つの DB 内に各バイヤ/サプライヤ情報やそれに関連する情報(全てのバイヤに公開される共通サプライヤなのか等)を管理するようにした事で、複数バイヤからの見積案件の登録を可能とした。

これによって、バイヤ側は1システムを複数事

業所または複数会社の資材・調達部門で共有することが出来るようになった。

また、サプライヤ側では、複数バイヤの見積案件を同一画面上で閲覧出来るようになった。

4. まとめと今後の課題

本システムでは、従来の調達システムではなかった応札評価結果の公表や、複数バイヤからの見積案件のエントリーを行えるようにできた。

この結果、各サプライヤ(現在、約1000社)間での競争意識が高まり、従来の調達システムより調達コストを約17%削減することができた。

今後は、他のASPとの連携やASP自体が複数存在する場合のバイヤ、サプライヤをどのように共有するかが重要な課題となる。

—以上—